1　研究の優れている点

○　実態を踏まえた取組の課題性
- 「キャリア発達」を促すために重要なこと
- 「役割」「評価」などのキーワード

○　データに基づいた客観性
- 「ベースライン期」と「指導期」
- 活動の「回数」の増加又は減少

○　指導・支援方法の実用性
- 将来を目指す姿ワークシート
- キャリア発達を促す授業ワークシート
- 「役割」や「評価」の学部ごとの例
- キャリア発達評価シート

2　研究との関連事項（１）

★　キャリア教育

一人一人の社会的・職業的自立に向け，
必要な基盤となる能力や態度を
育てることを通して，
キャリア発達を促す教育

★　キャリア発達

社会の中で自分の役割を果たしながら，
自分らしい生き方を実現していく過程

引用：中央教育審議会（平成23年）：『今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）』

2　研究との関連事項（２）

★　将来設計能力（キャリア教育発達段階表）

夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え，
社会の現実を踏まえながら，
前向きに自己の将来を設計する。

小　家の手伝いや割り当てられた仕事・**役割**
中　係活動での自分の**役割**
高　決められた係仕事や作業，
互いの**役割**や**役割**分担，
係活動や作業学習での自分の**役割**，
社会生活のいろいろな**役割**，
様々な職業での社会的**役割**，
自分の果たすべき**役割**

参考：東京都教育委員会（平成21年）：『知的障害特別支援学校におけるキャリア教育の推進』

2　研究との関連事項（３）

★　キャリア発達を促す実践のポイント

○　明確な「なぜ」「何のため」
○　「できる」「分かる」ための手立ての工夫
○　「やりたい」→「できて嬉しい」→「認められて嬉しい」→「人の役に立って嬉しい」
○　やっていることに対する「他者からの価値付け」
○　目標をもってチャレンジする経験
○　緊張感やつまずきとそれを乗り越える経験
○　本人にとって分かりやすい評価　　など

参考：菊池一文（平成26年）：広島大学大学院教育学研究科「知的障害キャリア教育総論」資料

3　今後に期待すること（１）

★　愛媛大学教育学部附属特別支援学校の取組

キャリア教育推進のキーワード

「働く意欲」
→　職業観を育てること

「生活意欲」
→　勤労観を育てること

「基本行動」
→　基本的生活習慣

「自立的支援」…最小の支援

参考：加藤公史（平成26年）：「キャリア発達を促す授業における目標設定と自己評価について～生活意欲・働く意欲を育てる授業づくりを通して，キャリア発達を支援する～」『日本特殊教育学会自主シンポジウム36　資料』

3　今後に期待すること（２）

★　愛媛大学教育学部附属特別支援学校の取組

授業改善の三つの柱

A 単元・学習内容設定の工夫
↓　目標・課題意識をもつ　適切な課題？

B 学習環境・支援の工夫
↓　見通しをもつ　課題を解決できる環境？

C 評価の工夫
自己効力感を感じる　課題解決の過程を肯定的に評価？

参考：加藤公史（平成26年）：「キャリア発達を促す授業における目標設定と自己評価について～生活意欲・働く意欲を育てる授業づくりを通して，キャリア発達を支援する～」『日本特殊教育学会自主シンポジウム36　資料』